

SHIRAKOBATO

しらこぼと



2001. S

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 208

日本野鳥の会 埼玉県支部

総会報告 決算予算の承認・役員選出など

平成13年6月24日(日)午後1時30分から、さいたま市民会館うらわの研修室で、平成13年度支部総会が開催されました。

司会は倉林宗太郎幹事、総会前の記念講演は、本部サンクチュアリセンターの山本裕氏(下写真)による「三宅島の鳥たちは、今」。

三宅島アカコッコ館レンジャーである山本氏から、最新の情報などが語られました。興味深い内容に、山部編集部長が早速その場で原稿執筆依頼、近いうちに本誌特集記事として掲載される予定になりました。



●議長の選出など

中島康夫支部長と松井昭吾顧問による挨拶のあと、議長：大坂幸男、書記：玉井正晴、議事録署名人：橋口長和・福井恒人各幹事が選出されて、議事に入りました。

●12年度事業報告と13年度事業計画

議長の名を受けて海老原美夫事務局担当副支部長が12年度事業報告について説明し、榎本秀和普及部長・山部直喜編集部長・福井恒人事業部長・橋口長和シラコバト見つけ隊委員長らがそれぞれ担当部門に関する補足説明をしました。

主な報告は次の通りです。

[総務・事務局関係]

12年度末の会員数2,847人。引き続き減少しました。

[普及活動関係]

探鳥会計画108回、雨天中止11回、実施97回＝1ヵ月平均8.1回。合計参加者数4,125人＝1回平均42.5人。合計参加者数も1回平均参加者数も前年度より減少しました。

[その他]

調査研究関係・編集活動関係は前年度なみの活動を着実に継続したが、事業活動関係は、

前年度に引き続き低迷しました。

13年度事業計画は、基本的に従来の活動を継続することとして、特に会員数の減少については、「社会的な情勢がその原因の大きな部分を占めていると思われるが、一人一人、自然と接することの楽しみを広げ、自然の大切さを知って貰う事こそ、いかなる情勢の中でも、会員数の増加を図る最も確実な方法であると認識し、地道な探鳥会活動の継続を中心に、機会をとらえてはその他の普及活動も展開し、会員数の増加を図る」としました。

日本野鳥の会埼玉県支部

平成12年度決算書・平成13年度予算書

| 収入の部 | | | |
|-----------|------------|------------|------------|
| 項目 | 12年度予算 | 12年度決算 | 13年度予算 |
| 一般会計期首繰越金 | 2,354,142 | 2,354,142 | 2,242,932 |
| 会費 | 4,600,000 | 4,275,800 | 4,000,000 |
| 寄付金 | 30,000 | 22,919 | 20,000 |
| 探鳥会参加費 | 340,000 | 287,151 | 250,000 |
| 雑収入 | 3,000 | 4,238 | 3,000 |
| 補助金 | 400,000 | 400,000 | 400,000 |
| (小計) | 7,727,142 | 7,344,250 | 6,915,932 |
| 事業部期首繰越金 | 829,524 | 829,524 | 765,966 |
| 運営準備積立金 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 |
| 事業部売上金 | 850,000 | 840,815 | 800,000 |
| 事業部雑収入 | 10,000 | 902 | 1,000 |
| (小計) | 6,689,524 | 6,671,241 | 6,566,966 |
| 合計 | 14,416,666 | 14,015,491 | 13,482,898 |

| 支出の部 | | | |
|-----------|------------|------------|------------|
| 項目 | 12年度予算 | 12年度決算 | 13年度予算 |
| 什器備品費 | 700,000 | 700,000 | 300,000 |
| 消耗品費 | 50,000 | 41,384 | 50,000 |
| 支部報印刷費 | 1,200,000 | 1,089,999 | 1,100,000 |
| 支部報発送料 | 1,800,000 | 1,288,500 | 1,170,000 |
| 印刷コピー代 | 400,000 | 183,150 | 200,000 |
| 通信費 | 250,000 | 140,120 | 200,000 |
| 雑費 | 200,000 | 131,813 | 200,000 |
| 家賃 | 1,200,000 | 970,000 | 984,000 |
| 水道光熱費 | 60,000 | 53,616 | 60,000 |
| 総務部費用 | 150,000 | 62,225 | 100,000 |
| 普及部費用 | 220,000 | 183,542 | 220,000 |
| 編集部費用 | 50,000 | 49,920 | 50,000 |
| 研究部費用 | 30,000 | 3,240 | 10,000 |
| 仮払金残 | 0 | 23,018 | 0 |
| 予備費 | 500,000 | 180,791 | 500,000 |
| 一般会計期末繰越金 | 917,142 | 2,242,932 | 1,771,932 |
| (小計) | 7,727,142 | 7,344,250 | 6,915,932 |
| 事業部仕入金額 | 700,000 | 900,655 | 700,000 |
| 事業部費用 | 10,000 | 4,620 | 10,000 |
| 運営準備積立金 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 |
| 事業部期末繰越金 | 979,524 | 765,966 | 856,966 |
| (小計) | 6,689,524 | 6,671,241 | 6,566,966 |
| 合計 | 14,416,666 | 14,015,491 | 13,482,898 |



顧問 鈴木忠雄
 松井昭吾
 支部長 中島康夫
 副支部長 海老原美夫 藤掛保司
 幹事 石井智 伊藤芳晴 榎本秀和
 (普及部長) 大坂幸男 北川慎一
 工藤洋三 倉林宗太郎 小池一男
 小荷田行男(研究部長) 小林みどり
 (記録委員会委員

●12年度決算と13年度予算

- 1, 会費収入・寄付金収入・探鳥会参加費などは、予算より減少しました。
- 2, 什器備品費として、パソコンとエアコンの購入は予算に入っていましたが、コピー機も壊れてしまい、その購入費用がかかりました。予算額を超えた部分については、予備費から支出しました。
- 3, 年度後半から始まった支部報と『野鳥』誌同封発送について、半年間の実績から計算すると、1カ月平均約4万円ずつの経費節約になっています。

楠見邦博・岡安征也両監事から監査報告があり、決算書・予算書も原案通り承認されました。

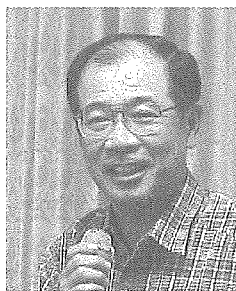
●13年度役員の選出

12年度役員の中から、桜庭勇幹事(右上)が退任の意思を表明していました。やむなく役員会としてはそれを認めて、新たに役員数が手薄な地区を中心に考えて、田中幸男氏(蓮田市=右中)、田邊八州雄氏(越谷市=右下)の2名を推薦しました。

原案通り承認されて、退任の桜庭氏を含めて3名がそれぞれ挨拶をしました。

総会を一時中断してその場で新しい役員構成による役員会議を開催し、支部長・副支部長・監事の体制は、前年度と同じとすることが決まりました。

13年度の役員は、次の通りです。



長) 佐久間博文 島田恵司 杉本秀樹 高文子 高草木泰行 田中幸男 田邊八州雄 玉井正晴 手塚正義 内藤義雄 中里裕一 中村榮男 橋口長和(シラコバト見つけ隊委員長・HP担当) 長谷部謙二 菱沼一充 福井恒人(事業部長・県鳥獣保護員) 森本國夫 山部直喜(編集部長) 吉安一彦 和田康男 監事 楠見邦博 岡安征也

今年度もご指導ご支援をお願いします。

(総務部)

2001年春 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日 時：2001年4月29日 9:35 ~11:25
 場 所：浦和市／大宮市 大久保農耕地
 天 候：曇り

1998年～2001年 春のシギ・チドリ類調査結果

4月29日に大久保農耕地でシギ・チドリ類の調査を行いました。当日は高気圧の中心が東海上に遠ざかり、東シナ海にある低気圧が東に進んで来ましたが、カウントにはまずまずの天気となりました。連休の谷間の中、支部会員19名の協力が得られました。ご苦労さまでした。

観察された鳥類・個体数は6種 315羽で、昨年の春と比較すると、種数で1種類、個体数で176羽多い結果でした。

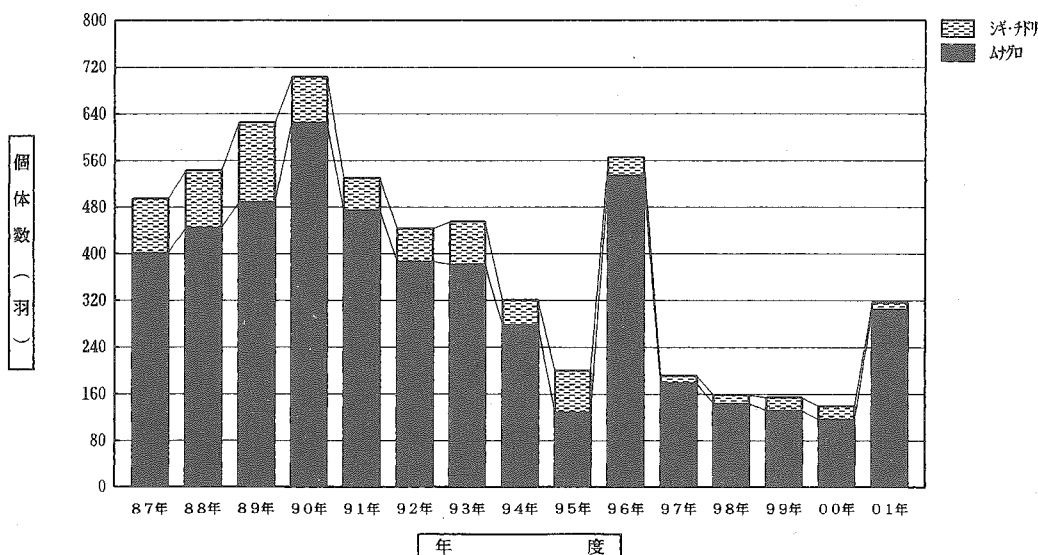
今回の特徴としては、100～200羽を推移していたムナグロが、5年ぶりに300羽を越えたことがあげられます。

グラフは春のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数をまとめたものです。

(石井 智)

| 調 査 地 | 大 久 保 農 耕 地 浦 和 市 / 大 宮 市 | | | |
|-----------|------------------------------|-------|-------|-------|
| | '98 年 | '99 年 | '00 年 | '01 年 |
| 鳥 類 | | | | |
| コチドリ | 1 | 2 | 5 | 2 |
| ムナグロ | 143 | 130 | 115 | 304 |
| キョウジョシギ | 2 | 4 | — | 2 |
| アオアシシギ | — | 7 | — | — |
| タカブシギ | — | 1 | 5 | 2 |
| キアシシギ | 2 | 1 | — | — |
| イソシギ | 1 | — | — | — |
| チュウシャクシギ | 2 | 5 | 11 | 4 |
| タシギ | 6 | 3 | 3 | 1 |
| ジシギSP. | 1 | — | — | — |
| 個 体 数 合 計 | 158 | 153 | 139 | 315 |
| 種 数 合 計 | 8 | 8 | 5 | 6 |

ムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類



野鳥記録委員会最新情報

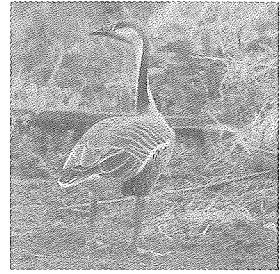
日本野鳥の会埼玉県支部 野鳥記録委員会

2001年4月22日午後3時頃、上尾市開平橋上流の荒川河川敷で、ナベヅル1羽を観察、写真撮影したと、伊藤茂会員（足立区）から連絡がありました。

1997年12月から翌年1月にかけて行田市酒巻地区に滞在した若鳥1羽に次ぐ、県内2例目として記録することとしました。



2001年4月10日ごろ、さいたま市深作沼でサカツラガン1羽を観察し写真撮影したと、本橋弘子会員（さいたま市）から連絡が届きましたが、



サカツラガンは県内各所の動物園や個人で飼育されている例が多く、いわゆるかごぬけ個体が各地で目撃されています。

この個体も自然分布であるとの確証は得られませんので、県内野鳥リストには入れないでおきます。

なお、サカツラガンは、かつて越谷市内の宮内庁鴨場で捕獲された例が文献に記録されているだけで、その他の記録はありません。

魔訶不思議な…

後藤康夫（嵐山町）

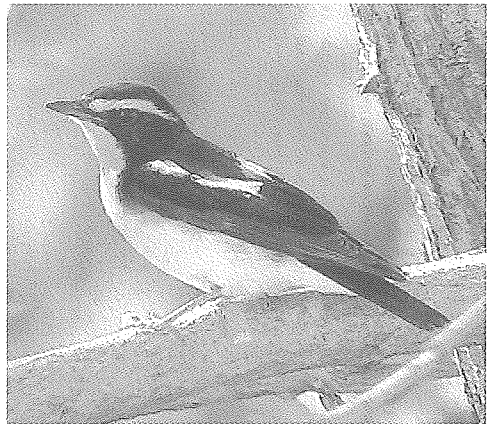
連休を後1日残す5月5日。久し振りに東秩父村の二本木峠（キャンプ場周辺）へ出かけてみた。新緑の明るい林にヤマツツジが満開。八重桜も残っている。初夏の爽やかな風が、メジロやシジュウカラ等の「さえずり」を運んでくる。

その中でも際だっているのが、キビタキとコジュケイである。キビタキがさえずればコジュケイがそれに応える。それは繰り返し繰り返し続く。暫く耳を傾けていたが、よくよく聞くと、どうもそれは違うようだ。この2種の「さえずり」が明らかに連続して1羽の鳥によってさえずられていることに気づく。

「ピッコロロ、ピョイチイー……ピー、ピーッ、チョットコイ、チョットコイ」

さえずりの前半はキビタキ、後半はコジュケイ。その不思議なさえずりの虜になった私は、その姿を探してみた。名付けて「キビケイ」。

しばらく周辺を探していたところ、予期せ

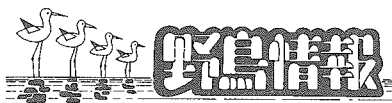


キビタキ（編集部）

ずそのキビタキは突然雌を伴って私の頭上に現れ、新緑の林を舞台にさえずり始めたではないか。…、私は茫然とその「さえずり」に聞き入っていたような気がする。

今年度初認のキビタキが不思議なキビケイとは！。帰り支度をする私に盛んに呼び掛けてくる。「ピッコロロ、ピョイチイー……、チョットコイ、チョットコイ」

（『鳥630図鑑』では「コジュケイに似た声も出す」と説明されていました。編集部）



戸田市道満彩湖 ◇4月10日、ノビタキ1羽。

4月16日、ツバメチドリ1羽。4月22日、チュウシャクシギ1羽。4月23日、ムナグロ5羽。4月29日、クイナ1羽、キアシシギ1羽（高橋達也）。

さいたま市片柳 ◇4月19日午後1時頃、林縁や畑の上を舞うオオタカ1羽。やがてキジバトを猛追、林の裏へ飛び去った（鈴木紀雄）。

さいたま市秋ヶ瀬 ◇4月20日、大久保農耕地でムナグロ15羽、水の入り始めた田んぼにいました（小林ますみ）。4月24日午後1時30分、A区でムナグロ約100羽、キョウジョシギ2羽、ジシギ類1羽、チュウサギ1羽。同日午後3時過ぎ、ピクニックの森でアカハラ。子供の森でキビタキ♂1羽、オオルリ♂1羽。4月26日午後3時頃、A区でムナグロ2羽、チュウシャクシギ1羽、A区でムナグロ約30羽、コアジサシ2羽、オオジシギ1羽。B区でタカブシギ1羽、チュウサギ6羽、オオタカ成鳥1羽。5月15日午後2時頃、A区でムナグロ約30羽、コアジサシ2羽。コアジサシは畦で休んでいた。A区でムナグロ約40羽、チュウシャクシギ1羽、ウズラシギ19羽。ウズラシギを同時にこれだけの数を見たのは初めて。B区でチュウシャクシギ3羽、飛翔。同日午後3時頃、子供の森でサンコウチョウ♂



バンの親子（編集部）

1羽、枝にとまったかと思ったら、尾をヒラヒラさせて飛び去った。5月24日午後2時頃、A区でチュウシャクシギ1羽。B区脇ゴルフ場の木にカッコウがとまり、よく鳴いていた。B、C区にかけてオオタカ成鳥1羽がキジバトを追って飛んだ（鈴木紀雄）。

さいたま市土呂2丁目 ◇5月25日午前10時40分頃、芝川でキアシシギ1羽。26日、28日には、もうその姿なし。ほんの一時の羽休めだったようだ。観察者自身にとって、当地初めての観察（松村禎夫）。

川口市差間 ◇4月21日午後3時頃、芝川第一調節池でマミジロツメナガセキレイ1羽。やっと見られた。オリーブがかかった背、黒い脚、短めの尾、腹の黄色は思ったほど鮮やかではなかった（鈴木紀雄）。

岩槻市文化公園 ◇4月20日午前11時頃、コムドリ5羽。5月1日午前10時頃、コムドリ♂1羽♀2羽（鈴木紀雄）。

岩槻市大戸 ◇4月23日午後3時30分頃、田の間の溝で採餌するクイナ1羽、コチドリ1羽（鈴木紀雄）。

岩槻市長宮 ◇5月9日午前9時頃、田植えの始まった水田でムナグロ27羽。5月10日午前10時頃、ムナグロ約20羽。6月7日午前10時頃、川通公園（工事中）の砂れき上でコアジサシ10数つがいのコロニーを見つけた。コチドリも4～5つがいている模様。現在抱卵中でヒナもいるようであった。市役所の「みどりの課」と対策を相談中（鈴木紀雄）。

岩槻市増長 ◇6月4日午前9時30分頃、広い水田地帯でチュウサギ約15羽、コサギ、ダイサギ、ゴイサギなどが散在しているのを観察していたら、畦の上に見かけないサギを発見。車で少しずつ近づいて確認したらアカガシラサギだった。ほぼ夏羽だったが胸にはまだ、まだら模様が残っていた。羽づくろいしたり、くつろいでいた。午後12時40分、再び行くと同じ場所にいたが、畦の奥の方へ20mほど飛んだ。羽の白と頭の赤茶色、背の黒灰色のコントラストがよく分かった。午後3時頃、100m程離れ

た水田の中から首を伸ばしているところを
発見。しかし、翌日には確認できなかった
(鈴木紀雄)。

春日部市内牧 ◇4月24日午前9時頃、オオ
タカ1羽。4月26日午前8時30分頃、内牧
公園内の林でオオルリ♂1羽、美しい声で
さえずっていた(鈴木紀雄)。

春日部市不動院野 ◇5月10日午後2時頃、
水田でムナグロ約30羽の中にキアシシギ1
羽(鈴木紀雄)。

宮代町 ◇4月26日、フクロウ2羽(鈴木紀
雄)。

蓮田市黒浜(笹山) ◇5月16日午後1時頃、
水田でムナグロ16羽。5月19日午後1時30
分頃、上沼でコアジサシ3羽、今年はコア
ジサシが少ないようだ。5月30日午後1時、
上沼上空をオオタカ若鳥1羽がハシブトガ
ラスにモビングされ西の方へ飛び去った
(鈴木紀雄)。

幸手市下吉羽 ◇3月16日、ツバメ1羽。5
月5日、キョウジョシギ2羽(秋間利夫)。

幸手市平野 ◇5月4日、タマシギ♂♀各1
羽。5月12日、ムナグロ49羽。5月13日、
ムナグロ45羽(秋間利夫)。

幸手市木立 ◇5月4日、オオヨシキリのさ
えずり。5月12日、コゲラ1羽。5月13日、
水田でケリ1羽、キアシシギ3羽、ムナグ
ロ21羽。◇5月27日、ひばりが丘桜泉園(ゴ
ミ焼却場)の建物の頂や煙突でチョウゲン
ボウ♂1羽、幼鳥1羽。♂が見張っていて、
相当遠くにいるカラスを追いたてていた。
時々小鳥のような餌を持ってきて給餌して
いた(秋間利夫)。

杉戸町遠野 ◇5月5日、ハマシギ夏羽2羽、
ムナグロ33羽(秋間利夫)。

東松山市岩殿 ◇5月4日午前6時~9時、



コヨシキリ(編集部)

物見山でオオルリ♂1羽、キビタキのさえ
ずり、センダイムシクイ、ヤブサメ、アカ
ハラ、ツグミ1羽、エナガ、シメ1羽、イ
カル、サシバ2羽、ビンズイ10数羽。物見
山駐車場上空をヒヨドリ30羽の群れが通過。
本日はヒヨドリの群れが非常に目立って
いた(後藤康夫)。

日高市台 ◇巾着田西側の栗畑でヒレンジャ
ク。5月5日、6羽。5月6日、8羽。5
月10日、2羽。5月11日、3羽。5月13日、
3羽。5月14日、2羽。電車が通る度に驚
いて飛び立つので、その時にカウントでき
ました。ジャノヒゲの青い実をついばんで
いた(鈴木悦子)。

県立小川少年自然の家 ◇6月3日午後3時
頃、遊歩道「ひかげ道」で休憩中の目の前
にヤマドリ♂1羽。見送った後も、こちら
がつづら折りを下るのに対して、斜面をシ
ョートカットで歩いて来て、出会い頭に再
び間近で見ることができた(鈴木敬)。

渡良瀬遊水地 ◇6月10日午後2時過ぎ、ア
ジサシ2羽、ダイビング。用水護岸でササ
ゴイ2羽、餌を狙っていた(鈴木紀雄)。

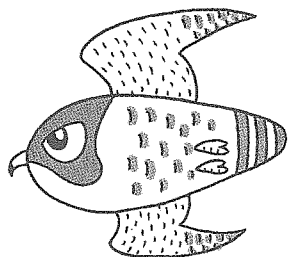
表紙の写真

アオサギ(コウノトリ目サギ科アオサギ属)

20年程前の探鳥会だったら「今日は珍しい鳥が出ましたね」と言っても不思議ではなかつたものだ。近年は全国的にも増えているらしい。『鳥類調査中間報告書』にも「1970年代には非常に少なかったが、1990年代には分布域が拡大している」とある。しかし、やっぱり、アオサギが出ると、じっくり見てしまう私です。

写真・外園たけの(春日部市)、文・編集部

行事あんない



(何森 要)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候の時は中止、小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月5日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前より北里メディカルセンター病院行きバス8:40発にて、「自然観察公園前」下車。

担当：岡安、大坂、内藤、島田、高(文)、立岩、永野(安)、永野(京)、高(尅)、今井、山野

見どころ：立秋も間近かですが、まだまだ暑い日が続きます。ここ石戸の鳥たちも無事にヒナをかえし、いま子育て中です。同じところ、違うところなど、我が身に照らし合わせての観察も一興かと思えます。なお、ゴミ拾いを計画していますので、暑さ対策とともに手袋もお忘れなく。



ノビタキ(菱沼一充)

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月12日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49発に乘車。

担当：中里、森本、石井(博)、倉崎、松本、高橋、後藤、藤田

見どころ：8月の大麻生の暑さに負けないあなたは、超一級のバードウォッチャーです。そんな中で見つけた鳥は、心に深くきっと残ります。日陰を求めて歩きますが、暑さに負けない用意でお出かけください。

「しらこぼと」袋づめの会

期日：8月18日(土) 1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

案内：暑さも峠を越えたかな、でもまだまだ暑い。そんな日の半日ですが、袋づめと鳥情報の仕入れに、ご苦労ですが汗をかきかきお出かけください。それにビデオ自慢の方の新作発表も必ずあるはずですが・・・。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：8月19日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館



ホオアカ (菱沼一充)

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺 (周)、若林、兼元、森 (力)、清水、小菅
見どころ：夏休み、ヒグラシ、アカトンボ。
暑い日差しも、木陰には風が吹いたりして。そんな夏の日、見沼たんぼにおでかけください。アシの葉陰で鳥たちは休んでいます。

千葉県・船橋海浜公園探鳥会

期日：8月19日 (日)
集合：午前9時30分、JR 総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス9：40発船橋海浜公園行きに乗車、終点下車。
交通：JR 武蔵野線南浦和8：30→西船橋にて総武線乗り換え、船橋下車。
担当：佐久間、菱沼 (一)、中村 (榮)、玉井、齋藤
見どころ：いま私達にとっては、まだまだ夏の最中ですが、早くもシギやチドリ、秋の渡りが始まっています。アジサシ、コアジサシの大群、カイツブリ類も、ミヤコドリも、もう来ています。
注意：海浜は紫外線が強く日陰もありませんので、暑さよけの帽子と飲み物を必ず携帯でおでかけください。

千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月26日 (日)
集合：午前9時30分、JR 武蔵野線南船橋駅改札口付近。
交通：JR 武蔵野線武蔵浦和8：34→南浦和8：37→南船橋9：26着。
担当：杉本、手塚、長谷部、伊藤、齋藤

見どころ：潮の干満の差が小さい日で、鳥をのんびりと見るのに適しています。それに干潟での鳥見には、絶好のシーズンです。どうぞ谷津干潟にお出かけください！ 帽子や飲み物などの用意もお忘れなく。

リーダー研修会

期日：9月2日 (日) 午前9時～午後5時
会場：北本市中央公民館第3会議室 (北本市本町1-1-2 ☎048-591-7321)
交通：JR 高崎線北本駅西口下車、徒歩約10分。駅前大通りを真っすぐ西へ進み、二つ目の信号を左折して約100m。
申し込み：8月10日までに榎本普及部長

役員リーダーも、必ず事前に参加申し込みを。予約なし当日飛び込みの参加は困ります。

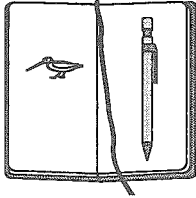
参加資格：探鳥会や支部活動に、リーダーとして協力できる支部会員

案内：当支部には専従の職員はおりません。支部会員のボランティアで、探鳥会の運営をはじめ、すべての支部活動を支えています。あなたの新鮮な力をお貸しください。野鳥の識別講座ではありませんので誤解のなきよう……。

持参するもの：パンフ『探鳥会のすすめ方』・テキスト『あなたもバードウォッチング案内人』(どちらも、お持ちでない方は当日配布予定)、筆記用具。なお、昼食は当方で用意いたします。



カワセミ (菱沼一充)



行事報告

3月18日(日) 坂戸市 高麗川

参加: 34人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ オオタカ チョウゲンボウ コジュケイ キジ バン オオバン イソシギ キジバト ヤマセミ カワセミ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) コースを従前のおりに戻した。チョウゲンボウが雨上がりの空に舞い、幸先がよいスタート。ウグイスの声を聞きながら、アオジ、オオバン、カワセミを見て進む。崖横の枯れ枝に待望のヤマセミが帰ってきた。全員が満足した顔で解散。解散後にはツバメを確認。(高草木泰行)

3月20日(火、休) 秩父市 羊山公園

参加: 38人 天気: 晴

トビ オオタカ コジュケイ キジバト コゲラ イワツバメ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ マヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 熊谷の気温が20度を越えた季節はずれの暑い1日。桜のつぼみは例年より小さめでウソははじめから期待薄。駅前で、今季初めてのイワツバメの舞を見てから、並んで採餌中のホオジロとカシラダカ、樹間を通り過ぎていくエナガの群れ、色鮮やかなマヒワやアトリたちで楽しんだ。番外のガビチョウもにぎやかに鳴いていた。(海老原美夫)

3月25日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加: 34人 天気: 曇

カイツブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ ハシブトガラス オオタカ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ビンズイ ヒヨドリ

モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ アトリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) スタート直後にオオタカが松の頂に止まっているのが見られた。風もなく穏やかな日で、鳥の多く出そうな予感どおり、アトリ、ビンズイと続いて出現し、全員が見ることができたと思う。そのためかスローペースになり、丸墓山に登頂するのをカットして終了。(内藤義雄)

3月25日(日) 狭山市 入間川

参加: 21人 天気: 曇

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オカヨシガモ ツミ バン コチドリ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ アオゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス セッカ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (42種) 3月は、恒例でツバメとカタクリを見る探鳥会。ツバメ、イワツバメは予定どおり現れ、カタクリは例年になく多くの花を咲かせ、皆を喜ばせてくれた。桜のほころび始めた稲荷山公園では、ツミが初登場。残念ながら姿ははっきり見ることができず声のみ。暖かくのどかな一日であった。(長谷部謙二)

4月1日(日) 北本市 石戸宿

参加: 73人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オオタカ コジュケイ キジ クイナ バン キジバト カワセミ コゲラ ツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ

ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) エドヒガンザクラの開花は早かったが、ここ数日來の寒さで散らぬまま残っていた。シダレザクラも満開。カタクリとカバザクラは咲き始めたばかり。冬鳥のカモ類とジョウビタキ、ツグミ、カシラダカ、アオジにお別れの挨拶。オオタカとカワセミもチラッと顔を見せた。(岡安征也)

4月1日(日) 浦和市 民家園周辺

参加: 47人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オカヨシガモ チョウゲンボウ コジュケイ キジ バン コチドリ タシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 花曇りのような天気の中、そろそろと出発。桜もたくさん咲いていて、たくさんのツバメたちも出迎えてくれた。また、そろそろ旅立つジョウビタキやオオジュリン、オカヨシガモなどにもゆっくり会うことができた。(伊藤芳晴)

4月8日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 60人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ トビ オオタカ ノスリ コジュケイ キジ バン イソシギ キジバト アオゲラ アカゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ヒレンジャク ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ ニュウナイスズメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (47種) 下見では野鳥の森方面でニュウナイスズメが見られず、朝にレンジャクが確認された明戸堰へのコースを取った。ところがSLを見送る付近で何と! ニュウナイスズメの群れ、その先の林ではヒレンジャクの群れ、アオゲラ、畑ではオスのキジなど次々に出現し、全員舞い上がった。リーダーも大満足の日だった。(和田康男)

4月15日(日) 浦和市 三室地区

参加: 59名 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ ゴイサギ カルガモ コガモ オオタカ チョウゲンボウ コジュケイ キジ バン コチドリ タシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 葉桜の季節でアメリカハナミズキなど花々が咲き乱れる見沼の春。風がさわやかでゆっくりとした探鳥会であった。博物館の館長さんも飯塚さんに代わられご挨拶。自然と人の和について話された。鳥見の学校も新入生を迎え賑やかで、それに応えてオオタカやチョウゲンボウも大空を旋回して楽しませてくれた。(楠見邦博)

4月15日(日) 浦和市 秋ヶ瀬公園

参加: 47人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オオタカ チョウゲンボウ キジ コチドリ イソシギ タシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 諏訪前橋では出発前からチョウゲンボウが出て幸先がよい。鴨川機場付近では、カワセミ等10種ほどで思わず時間をとられた。子供の森では、ウグイスやキジが鳴く。終わりに近く、野鳥公園上空にオオタカが出て締めになった。(倉林宗太郎)



カイツブリ幼鳥 (編集部)

連 絡 帳

●カワウの研究集会

日本野鳥の会では、カワウやカラスをモデルに、野鳥と人との共存について検討しています。カワウについては、分布拡大に伴って、放流魚食害の声が各地の漁協から大きくなってきました。そこで、平成 10 年度から、水産庁が関東地方の都県と協力して、被害評価や対策に取り組んできました。しかし、水産庁や各都県水産課だけでは、広域的に行動するカワウの調査などは十分に行えません。

そこで、本部研究センターは、水産庁の協力を得て、行政担当者、自然保護団体、漁協、研究者などの関係者が集まり、意見交換する研究集会を開催することになりました。

日時 2001 年 9 月 2 日 (日) 10 時～15 時頃

場所 日本野鳥の会ウイング リコーホール

おもな内容 カワウの動向・カワウの被害・水産庁の取組・地方自治体の取組・漁協の声・被害防除の事例・など

申し込み 〒191-0041 日野市南平 2-35-2 日本野鳥の会研究センター「野鳥と人との共存プロジェクト」担当 成末雅恵 TEL 042-593-6872 FAX 042-593-6873 E-mail narusue@wing-wbsj.or.jp

締め切り 8 月 20 日まで

●普及活動

6 月 4 日 (月)、上尾市立今泉小学校において、6 年生 64 名の総合的な学習として、支部幹事たちが野鳥観察を指導しました。

メインリーダー：高文子、リーダー：松井昭吾・中島康夫・藤掛保司・桜庭勇・馬場友里恵・百瀬修・尾崎甲四郎。

6 月 29 日 (金)、鶴ヶ島市立藤小学校において、同市内の小学校 8 校、中学校 5 校、計 13 校から

13 名の理科担当教員が集まった勉強会で、陶山和良会員(さいたま市)が、野鳥観察の方法、観察会開催の心得などについて指導、懇談しました。

●鳥見ランキング、優勝できるかも

4 月号でご紹介した鳥見ランキング。今のところ参加者はあまり多くありません。応募すれば上位入賞の可能性が大。自分で考えた「勝手にランキング」なら、優勝も夢ではありません。お待ちしております。

●8月の事務局 土曜と日曜の予定

4 日 (土) 編集部会議・普及部会議。

5 日 (日) シラコト見つけ隊。

11 日 (土) 9 月号校正。

18 日 (土) 袋づめの会。

19 日 (日) 役員会議。

●会員数は

7 月 2 日 現在 2,798 人です。

活 動 報 告

6 月 9 日 (土) 7 月号校正 (海老原美夫、山部直喜)。

6 月 17 日 (日) 役員会議 (司会：大坂幸男、臨時評議員会・次期評議員・総会準備・行事予定・その他)。

6 月 18 日 (月) 7 月号発送 (倉林宗太郎)。

編 集 後 記

『野鳥』誌を見ていたら、五色沼近くの提携旅館で、「昨年はアカショウビンが 5 月 20 日に出了」というコピーが目にとまりました。よし、裏磐梯だと、5 月下旬に家族で出かけました。

エゾハルゼミの声を、たっぷり楽しんでできました。(藤原)

しらこぼと 2001 年 8 月号 (第 208 号) 定価 100 円 (会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130

〒336-0012 さいたま市岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1 階

(財)日本野鳥の会 会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。印刷 関東図書株式会社